

# 原 征 明 教 授 略 歴

## 学 歴 ・ 職 歴 な ど

1967年 3月	東北学院大学文経学部二部経済学科卒業（経済学士）
1970年 3月	東北学院大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士）
1973年 3月	東北学院大学大学院経済学研究科博士課程単位取得・満期退学
1973年 4月	東北学院大学助手
1974年 4月	東北学院大学講師
1976年 4月	東北学院大学助教授
1986年 4月	在外研究（英国ロンドン大学Westfield College・歴史学科客員研究員）
1987年 4月	東北学院大学経済学部教授
1991年 7月	アーサイナス大学夏季交換留学生ディレクター（9月まで）
1993年 4月	東北学院大学経済学科長（1994年 3月まで）
1994年 4月	東北学院大学大学院経済学研究科担当（2013年 3月まで）
1995年 4月	東北学院大学体育会副会長（2005年 3月まで）
2000年 4月	東北学院大学就職部副部長（2002年 3月まで）
2003年 8月	仙台地方裁判所委員会委員（2009年 7月まで）
2007年 4月	東北学院大学就職部長（2009年 3月まで）
2007年 4月	東北地区私立大学就職問題協議会会長（2009年 3月まで）
2009年 4月	東北学院大学嘱託教授（2013年 3月まで）
2013年 4月	東北学院大学名誉教授
2013年 4月	東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所客員研究員（2014年 3月まで）

## 研 究 業 績 な ど

### 【著書】

（共著）『「ヒト」の移動の社会史』－岩本由輝還暦記念論文集－（刀水書房，1998年）  
「中世初期北欧における「人間の移動」について」，を執筆

### 【論文】

「ブリテンにおけるケルト人－その社会経済組織に関する基礎的考察－  
（東北学院大学論集・経済学63号，1973年）  
「移動・定住期におけるアングロ・サクソン人の初期的動向－ 1つの覚書－  
（東北学院大学論集・経済学64号，1974年）  
「J.Mドジソン「南東部イングランドにおける *-ingas, -inga-* 地名分布」の意味に関するノート」

- (東北学院大学論集・経済学66号, 1974年)  
「アングロ・サクソン人の早期社会組織の一側面－インガス定住を中心に－  
(東北学院大学論集・経済学69号, 1975年)  
「ヴァイキング (Vikings) 史研究序説」 (東北学院大学論集・経済学81号, 1979年)  
「ヴァイキング期スウェーデンの交易拠点－ビルカ (Birka) の盛衰について－  
(東北学院大学論集・経済学84号, 1980年)  
「ヴァイキング期デンマークにおけるヘデビュー (Hedeby) の諸相」  
(東北学院大学論集・経済学90号, 1982年)  
「デンマークにおけるヴァイキング期の都市, リーベ (Ribe) について」  
(東北学院大学論集・経済学100号, 1986年)  
「ヴァイキングとアングロ・サクソン社会－初期的動向－」  
(東北学院大学論集・経済学110号, 1989年)  
「スコットランドとヴァイキング－地名学・考古学的証拠による定住史の断章」  
(東北学院大学論集・経済学126号, 1994年)  
「ヴァイキング時代という胎動」(『ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容』・  
研究プロジェクト報告書Ⅲ)  
(東北学院大学オープン・リサーチ・センター) 2010年3月) 所収  
「ヴァイキング期北欧と周辺諸地域の相関－貨幣史的考察を中心に－」(研究プロジェクト最終  
報告書『ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容に関する研究』  
(『東北学院大学オープン・リサーチ・センター』(2012年3月) 所収

#### [研究ノートおよび書評]

- 「M.M.ポスタン, "The Medieval Economy and Society"にみる「マナー起源論」－その所説と1・  
2の問題－」 (東北学院大学論集・経済学76号, 1978年)  
M.M.ポスタン著, 保坂栄一・佐藤伊久男訳『中世の経済と社会』 (『歴史』第61輯, 1983年)  
「ヴァイキングとアングロ・サクソンイングランド再考－デーネロウ (Danelaw) 地帯をめぐっ  
て(1)－」 (東北学院大学論集・経済学158号, 2005年)  
「船葬墳墓地サトン・フー (Sutton Hoo) をめぐる小論」  
(『ヨーロッパ文化史研究』第7号, 2006年3月)  
「ヴァイキングとアングロ・サクソンイングランド再考－デーネロウ (Danelaw) 地帯をめぐっ  
て(2)・レプトン・ヴァイキング (Repton Vikings) の遺跡－」  
(『東北学院大学論集・歴史と文化』第46号, 2010年3月)  
「アングロ・サクソンイングランドとヴァイキング－ 「モールドンの戦い」 (The Battle of  
Maldon) をめぐる小論－  
(『ヨーロッパ文化史研究』第14号, 2013年3月)

[学会発表・フォーラム・シンポジウム・公開講座]

「ブリテン島とヴァイキング」 第12回日本ケルト学会議（1992年4月3日）（金城学院大学）

summary in: “The 12<sup>th</sup> Conference of Celticists in Japan” August, 1992年 pp.9-11

「ヴァイキングとイングランドーその定住形態, 商業・手工業活動をめぐってー

日本西洋史学会第43回大会（1993年5月16日 愛媛大学）

summary in: 『西洋史学』 CLXXI, 1993年 p.56

「歴史のなかのヴァイキングー西欧中世社会経済史における中心と辺境ー」

金城学院大学・公開講演（1995年11月7日）

「ヴァイキング史からみた北欧・西欧の社会的変容について」

古代学協会仙台支部大会・研究会（2002年3月23日）。

「アイルランド海周辺諸地域とヴァイキング」

第22回日本ケルト学会議・研究大会（2002年10月13日 立命館大学）

summary in: 『ケルティック・フォーラム』 第6号 pp.41-42（2003年3月）

「ヴァイキングのラテン文字文化受容と記述文化の成立ー連続コロキウム「外来文化受容と記述文化の成立」第6回報告ー

（日本ケルト学会議・東京研究会 2002年12月7日 國學院大学）

[学内フォーラム] 「ヴァイキング史から初期中世ヨーロッパを考える」

2006年6月10日（土）（東北学院大学・ヨーロッパ文化研究所主催）

[第25回キリスト教文化講座]「初期中世北欧におけるキリスト教受容の意味について」

2006年10月17日（火）（東北学院大学・キリスト教文化研究所主催）

[公開シンポジウム]ー北海からアイリッシュ海へーヴァイキングの軌跡ー

「ヴァイキング時代」という胎動（東北学院大学オープン・リサーチ・センター）2009年3月

[公開フォーラム]「初期中世ヨーロッパにおける聖界と俗界」（東北学院大学・ヨーロッパ総合文化研究所）2013年3月16日）押川記念会館ホールにて

[その他]

“The Battlefields Trust” と “Annual Conference” について

『英日文化』 No. 51, May, 1995（英日文化協会）所載

批評：ルドーほか著（原 聖訳）『天国への道ー民衆文化と司祭たちー』（日本エディタースクール出版局, 1996年）をめぐって

日本ケルト学会議・東京研究会（1996年7月13日 國學院大学）

[宗教音楽研究所エッセイ]

【音】 楽から音楽へーわたしは何を求めるかー

東北学院大学・宗教音楽研究所「紀要」第14号（2010年3月）

## 【社会活動】

仙台方裁判所委員会（司法制度改革－裁判員制度の導入・刑事事件の取り調べ供述に関する録音・録画（可視化）・民事訴訟裁判の迅速化など）

「裁判員制度フォーラムin宮城」のパネリスト（2005年10月，仙台国際センター）

日本学生支援機構・講演（3）「キャリア[形成]支援について」（2009年4月・Adobe PDF版に所収）